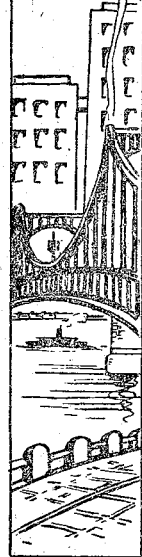


論
說



配給統制と道路

野村兼太郎

一

經濟生活の戰時體制への編成替と共に、あらゆる經濟機構の綜合統一が要求されてゐる。今日政府がなさんとする所謂經濟の新體制なるものが如何なるものであるか、未だその全貌を明かにすることは出来ないが、動もすれば綜合のための綜合統一のための統一となり、生産力發展のために、却つて害をなす恐れのあることを憂ふるものである。勿論新體制の立案に際しては、あらゆる角度から十二分に考察されたものと考へるが、なほ今日までの實情に想到する時、多少の危惧の念を抱かざるを得ないのである。

私は敢てこゝに經濟新體制を全面的に取扱はうといふのではない。主として配給機構の問題を

道路に關係ある方面から觀察して見ようと思ふのである。すべて史的發展の經過から考察すると如何なる制度といへども、それがその社會において、相當永續し得らるゝものであつた場合には、決して急激な飛躍はし得ないものであるといふことが出来る。例へば明治維新の變革のやうな場合、輕率に觀察すると、その社會的經濟的發展は飛躍的の如く見えるが、少しく詳細に調査すれば、それは表面に見らるゝやうな飛躍的なものではなかつたといへる。

要するに變革期に際して、兎もすれば行なはれるやうな先進國制度の模倣的移植は、その國の實情に應じて修正されざるを得ないといふことになる。その國の實情に添ふやうな改革のみが永く後まで續くのであつて、その實情に添ふことを最初から考へに入れて改革することが、一國全體の經濟の上からいつて頗る有利であると考へる。わが國の配給機構の如きは、英米は勿論、ドイツ、イタリア等のそれとも同一視することは出来ない。わが國特有の歴史的傳統の上に立つものである。かつ地理的環境においても、決してそれらの國々と同じものではない。違つた傳統をもち、異なつた環境にある制度を同一にすることは、却つて悪い結果を生ずる。それらの傳統や環境を考慮するには、先づ十分にそれらを検討考察する必要がある。今一々それらに論及する餘裕がないから、以下配給統制と道路に關して、少しく管見を述ぶる程度に止めて置く。

わが國の産業機構がすでに資本主義的に完成されてゐることは、一般に認められてゐることであるが、その發達が主として日露戰役以後の短期間になされたことと、一般に資本が潤澤でなかつたこと等に依つて、單に産業機構のみならず、工業などにおいても頗る片よれる發達をしたことを注意して置く必要がある。即ち一方大規模の近代的配給機構が存すると共に、他方從來から存してゐた古い配給機構が依然として重要性をもつてゐる。

大正年代の中頃、所謂わが資本主義の成熟期に際して、それらの古い小規模の配給機構は大資本の進出に依つて、著しい打撃をうけ、さらに産業組合その他の社會政策的施設の發達と共に、益々困難な状態に陥りつゝあつた。即ち中小商工業保護の問題が喧しく論争され、昭和年代になつて、終にこれら中小商工業者保護のために、政府自ら乗り出し、あるひは庶民金庫を設けて、その金融を助け、あるひは百貨店の活動に制限を設けて、その大資本的侵略を防止するに至つた。

このことは何を意味するのか。中小商工業者を残存せしむることが、社會政策的に見て必要であつたのか。彼等の子弟が多く兵役に従事し、又國家の中堅として重要な役割を有してゐたがためか。かつて私は他の場合に論じたやうに、それだけならば特に中小商工業者を保護する必要を認めない。國家の中堅を構成する者は必ずしも中小商工業者ばかりでないからである。私はむしろ他の方面即ち中小商工業者存在の經濟的理由に依つて、その保護の必要を認めたのである。しかしこの問題は今關係のあるものではないから省略する。それが如何なる理由からにもせよ、存在の必要を社會

的に承認された事實は、その機構に社會的意義の存することが暗々裡に認められたことになるのである。

わが國の配給機構は單に問屋仲買小賣の數階級を経るばかりでなく、それらの諸資本は小額であつた。比較的資本の多い筈の卸賣問屋にしても、少數者を除き、大部分はそれほど大なる資本を有してゐない。小賣商に至れば極めて小資本を以つて營業してゐるものが大多數である。彼等はその大小に應じて一定の配給範圍、即ち御得意先を有して、その需要に應じてゐるのである。そしてこの配給範圍を御用聞き制度に據り、又は特殊の配達販賣方法に依つて維持してゐるのである。顧客の方も従來の慣習に應じて、これを便利とし、それに依つて日常生活必需品を始め、時には奢侈品のやうなものさへ購入してゐた。

かゝる状態であるから、そこにさらに古い形態行商のやうなものも十分存在し得る餘地があつた地方に依つてはそれらがなほ重要な配給の役割を演じてゐたのである。

かういふ状態は上述の如くわが國の資本主義的發展の特殊性に據るものであることは明かである。資本が少なく、勞銀が安いといふことなどもその一つであらうが、他方わが國の交通機關の狀態がかゝる配給機構の存在を必要ならしめたのであらう。

わが國の地理的特質は周知の如く、(一)南北に長い幅の狭い島であること、(二)山岳重疊して平原の少ないこと、(三)従つて河川の多くは急流にして、道路は狹隘にして迂餘曲折してゐる。かうした

地理的環境の不利は鐵道の發達に依つてある程度まで除去されたことは明かである。しかしそれも全國的に見れば極めて一部分に過ぎない。自動車の場合についても同様なことがいへよう。道路の改良が著しく進展しても、なほ貨物自動車は勿論普通の自動車さへもはいり得ない道路が相當多い。従つて大都市においてさへ、自轉車や人力車がなほ有用な運輸機關になつてゐるのである。

勿論最近における道路その他の運輸機關の改善が漸次に完成され、前述の如き小資本の配給機構が廢類しつゝあつたことは事實である。例へば地方における乗合自動車の發達に依つて、地方小都市の小商店が廢業せざるを得なくなつた。それらの顧客は自動車賃を費つても、大都市に出て購買する方が有利だからである。しかし前述の如き地形からすべての地方に同様の自動車道路を建設することは困難である。従つてなほ古い形態の配給機構をそのまま殘存せしむる必要があつたのである。

上述の如き状態から當然こゝにわが國の配給機構が頗る複雑な形態を採らざるを得ないことになる。古い機構の一部が例外的に殘存する例は他の先進資本主義國にも存在する。ロンドンの街中にも貧しげな小賣商もあれば、又呼び賣商人が屋臺店を引張つて行商をしてゐる。しかしそれは全配給機構の中樞をなすものではない。わが國にあつては古い機構と新しい機構とが併存し、しかも何れも重要な役割を演じてゐるのである。換言すればその地方の配給はそれを除去すると圓滑に行なはれ得なくなることの意味する。この點はわが國の配給機構を統制する上に一つの難點と

見ることが出来る。

三

この配給機構の複雑性はすでに早くからその合理化が要求されてゐたのであるが、部分的には改善されたが大體において依然として舊態を持續してゐた。このことは前述の如くわが國における資本主義發展の特殊性と地理的環境とに依存するもので、一概に全面的な合理化を行なひ得なかつたからである。即ち理論的には排除して然るべき筈であつた配給機構も、實際には全配給機構中に重要な役割を依然として占めてゐたのである。従つてこれを直ちに除去することは社會的混亂を來たす恐れがあつたのである。

戰時經濟の深刻化すると共に、かゝる状態にあつても、なほ諸機構の綜合統一が要求され、一部重要商品については、強制的に統合が行なはれた。その結果としてその商品の配給に圓滑を缺くに至り、消費者は多大の不便を感じ、かつ勞力と時間とを浪費してゐる状態にある。即ち従來存してゐた末端的配給を實狀を顧ることなく綜合統一したからである。わが國における小賣商の過多は従來からすでに認められてゐたことではあるが、それらを急激に廢止すれば、それらが従來行なつてゐた末端的配給を行なふべき機關の設置を必要とする。それらを設けずに、少數の獨占機關に配給を行なはすれば、末端的配給の負擔は消費者に轉嫁されるのは當然である。但し消費者を不便ならしめて、その購買力を制限することを目的とするならば、それは別問題である。しかし戰時下における全般

的勞力の浪費を防止せんとするならば、配給機構は出来る限り圓滑ならしむることを必要條件とする。

さらにあらゆる商業の綜合統一が、原料統制、勞力統制、價格統制、配賣統制等の必要から要求されるのは當然である。然るに前述の如き事情から、同一商業に従事する者の程度に著しき隔りがある。然るにそれらを見做して、一元的組合に綜合統一させることには、少なからざる無理がある。その前提として小賣店の合同を懲慚することは第一に必要なことではあるが、これも實際狀態としては、各地方地方の狀況に依り、又その商業の性質に依つては一概になさるべきことではない。これらの事情は今日作られつゝある商業組合が如何に不備であるかを以つても推知することが出来る。勿論そこにはそれら組合を構成せる商人の無自覺、無經驗に據ることが大であるとはいへ、他面無差別的統一の弊害の大なることも認めなければならぬのである。

かくの如き混亂は物資不足の情勢を一層強化せしむることになる。勿論そこには物價政策の未熟が一部の原因をなしてゐることは認められるが、配給機構の不圓滑は存在する物資をすら十分に消費者に満足を與へることが出来ないといふ結果を生じてゐる。かゝる狀態のままでも、もし敵機襲來といふやうな戰時狀態にはいつたならば、如何なる結果を生ずるか誠に寒心に耐へないものがある。例へば鐵道運輸に依存してゐる物資は、單なる一鐵橋の爆破に依つて、輸送不可能となる。その場合日常必要品の消費者への配給が十分に考慮されてゐるのであらうか。從來の防空演習を見る

と食ふことには何ら心配のない状態に置かれたものとして、一向に敵機の襲來と警戒消防にのみ重點が置かれてゐる。それらが重要であることはいふまでもないが、長い防空期間における食料品避難させた者達の必需品は誰が配給の役割を演ずるのか。各人が勝手にそれぞれの家族に對し責任をもつのだといふことになれば、結局混亂に陥ることを免れず買ひ溜めをしてゐた者が、一時的にでも利益だといふことになる。

四

わが國のやうな地理的條件をもつ國においては、沿岸航路の獲保は物資配給の上に重要な役割をもつが、他方國內における道路網の合理的完成が絶対に必要である。地方相互間並びに中央と地方との中樞的な道路についてばかりでなく、各地方内部の道路についても中心市場と末端の消費者とを連絡するものを合理的に構成して置く必要がある。これに關聯して考へらるゝことは、例のブロック制度である。

今日府縣別で經濟封鎖のやうなことをなし、重要商品の縣外移出を禁じたりしてゐるが、これは經濟的に見れば、全く有害無益である。今日の商品の需給關係は府縣別の如きものに依つて嚴別さるべきものではない。かゝる方法を以つてすれば、直ちに原料の偏在を生じ、生産低減を來たすことは極めて明瞭である。かゝる行政的區劃によらずにも、つと經濟的關係を基礎とするいくつかの大きなブロックに全國を分かつ方がよい。この場合さうした經濟的地域内の道路構成を出来る限り計

畫的に構成しなければいけない。勿論かゝる道路が一朝一夕に構成されるものではないから、實際上は現存する道路を出來る限り改善するといふに過ぎないであらう。唯その改善の場合に、その根本的計畫の線に添ふといふことが必要なのである。

かゝる道路網はわが國の地勢の關係からその末梢的部分は決して幅員の大なるものは構成し得ないし、又恐らく必要でもないだらう。しかしその地域内の重要道路は相當の幅員と設備とを必要とする。殊に最も重要な道路については萬一の場合を豫想して豫備的な副道路を設けて置く必要がある。

これらの道路に應ずる配給機關を平時から具備して置く必要がある。今日都市において往々見るところの光景は誠に無秩序である。配給所から米や炭を受取るために、各消費者が各自にリヤカアや乳母車のやうなものを持ち出して運んでゐる。これは敢ていへば平和的非常時風景である。眞の敵襲下の非常時にあつては混亂状態に陥る恐れが十分豫想される。末端的配給機關であつた小賣商を動員して戦時下の必要物資の配給に當て、それぞれの擔當區域について責任をもたせ、仲買又は卸商については、さらにその上層配給機關としての責任をもたせる。消費者が個々に配給の分擔をなすが如きは、全體として頗る不經濟であるばかりでなく、危険である。敵機が日に何回も來るやうなことが起れば不可能に近い。

右の議論は原料品を購入する生産者の場合についてもいへる。例へば原料の著荷がそれを必要

とする工業組合に通達され、工業組合がその組合員に割あて、それぞれの製造業者に通達する。製造業者は自己の負擔の下で、著荷場所又は配給所——それが往々にして遠隔の地であることがある——に行く、——しかも切符と貨物との配分速度が等しくないため、無駄足を踏むことが少なくない——やうでは全體として頗る不經濟である。殊にもしその配給さるゝ商品が特殊の運搬器具を必要とする場合、各消費者が各自にそれらの器具を所有することは甚だしい無駄である。

要するに従來の配給機關を綜合統一するに當つては、濫りに机上の觀察を以つて、併合又は廢止を行ふことは、非常時が深刻化すると共に、むしろ危険と弊害とを生ずることを指摘したかつたのである。元來それらを綜合統一するのは非常時なるが故に、特に必要とされたのである。そして今までは大體その必要に應じて、その場の場の統制を、不統一に、無關聯に行なつてゐたやうに、少なくとも私は思はれる。それがために弊害を生ずるのである。綜合統一の必要は以前から認められてゐる。配給統制の場合においては、上述の如き全體的經濟領域内の道路その他の配給機關を考慮に容れ、その配給を完璧ならしむるやうに綜合統一すべきである。殊に従來さうした配給機關の存在したといふ事實には、何らかの存在理由がある。それらの存在理由を配給機構上無視して然るべきものなりや否やが、それらの廢止又は合併を決定する。その場合、傳統的、地理的諸條件を十分考慮すべきである。

(昭和十六年二月二十三日稿)